

solar**edge**

SolarEdge パワーオプティマイザ産業用 モジュールアドオン

P600 / P700 / P800p / P800s



パワーオプティマイザ

モジュールレベルでの太陽電池出力最適化 産業用および大規模サイト用設置に、最も経済性の高いソリューション

- ソーラーエッジパワーコンディショナと連携する特別設計
- 最大25%の出力増
- 優れた効率(99.5%)
- システムのバランスを考えたコストの低減:ケーブル、ヒューズや接続箱を半減
- ボルト一本で設置が迅速
- モジュールレベルモニタリングで次世代型メンテナンス
- インストーラーおよび消防士の安全を確保するモジュールレベルの電圧シャットダウン
- 太陽光パネル2枚接続使用



SolarEdge パワーオプティマイザ産業用 モジュールアドオン P600 / P700 / P800p / P800s

パワーオプティマイザ (標準的な対応モジュール)	P600 (60セルモジュール 2枚付け)	P700 (72セルモジュール 2枚付け)	P800p (96セルモジュール 2枚付け)	P800s (高出力、両面受光 モジュール2枚付け)	
入力					
定格直流入力電力 ⁽¹⁾	600	700	800		W
絶対最大入力電圧 (最低温度でのVoc)	96	125	83	120	Vdc
MPPT動作範囲	12.5 - 80	12.5 - 105	12.5 - 83	12.5 - 105	Vdc
連続最大短絡電流(Isc)	10.1		14	12.5	Adc
最大効率				99.5	%
実質効率				98.6	%
過電圧カテゴリー				II	
稼働時出力 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナに接続されたパワーオプティマイザ)					
最大出力電流	15		18		Adc
最大出力電圧				85	Vdc
非稼働時出力電圧 (ソーラーエッジ製パワーコンディショナから切断またはソーラーエッジ製パワーコンディショナのオフ時)					
パワーオプティマイザごとの 安全出力電圧				1	Vdc
適合規格					
EMC	FCC Part15 Class B, IEC61000-6-2, IEC61000-6-3				
安全性	IEC62109-1 (クラスIIの安全性)				
RoHS	適合				
火災安全性	VDE-AR-E 2100-712:2013-05				
設置条件					
ソーラーエッジ製パワーコンディショナ	SE5500H-JP、三相パワーコンディショナ		三相パワーコンディショナ		
最大許容システム電圧				1000	Vdc
寸法 (幅×長さ×高さ)	128 x 152 x 43	128 x 152 x 50	128 x 152 x 59		mm
重量 (ケーブルを含む)	834	933	1019	1064	gr
入力コネクタ ⁽²⁾	MC4		MC4 (2対の入力コネクタ) ⁽⁶⁾		
出力コネクタ				MC4	
出力ワイヤー長	1.8	2.1	1.8	2.1	m
動作温度範囲 ⁽³⁾	-40 - +85				°C
耐環境性能	IP68 / NEMA6P				
相対湿度	0 - 100				%

⁽¹⁾ 標準試験環境(STC)でのモジュール2枚を直列接続した合計の定格電力。+5%までのモジュール電力誤差まで許容。

⁽²⁾ 他のコネクタタイプについてはソーラーエッジにお問い合わせ願います。

⁽³⁾ 周囲温度+70°C以上では、電力デレーティング値に沿って稼働します。詳細は、「Power Optimizers Temperature De-Rating Application Note」を参照。

ソーラーエッジパワーコンディショナを使用した PVシステム設計 ⁽⁴⁾⁽⁵⁾	単相 HD-Wave SE5500H-JP	三相 SE25K-JP		三相 SE33.3K-JP		
パワーオプティマイザ	P600 & P700	P600, P700	P800	P600, P700	P800	
最少ストリング長	7 14	13 26	12 24	13 26		
最大ストリング長	25 50			30 60		
ストリング毎の最大電力	8250	10050 ⁽⁶⁾	12060 ⁽⁶⁾	12750 ⁽⁷⁾	15300	W
異なるストリング長と構成での入力接続	可					

⁽⁴⁾ 同一ストリング内でのP600とP700の混在使用できます。ただし、P600/P700とP300/P350/P405/P500の混在はできません。

⁽⁵⁾ 奇数枚のPVモジュールを1ストリングに接続する場合、パワーオプティマイザP600/P700/P800 台に1枚のモジュールを接続することで可能となります。P800pにモジュールを1枚接続する場合は、使用していないコネクタをシールして下さい。

⁽⁶⁾ SE25K-JP: ストリング直流電力は最大で12,500W可能ですが、3ストリング全てが接続され且つ各ストリング間の電力差が2,000W以下の場合に限りです。

⁽⁷⁾ SE33.3K-JP: ストリング直流電力は最大で15,000W可能ですが、3ストリング全てが接続され且つ各ストリング間の電力差が2,000W以下の場合に限りです。従ってパワーコンディショナーの最大直流電力は45,000Wになります。

